



平成 25 年 5 月 14 日

各 位

会社名 星和電機株式会社
 代表者名 取締役社長 増山 晃章
 (コード 6748 大証第2部)
 問合せ先 専務取締役 愛知後 秀作
 (TEL. 0774-55-8181)

特別損失の計上、通期連結業績予想値および前期個別実績値と 今期実績値との差異に関するお知らせ

平成25年3月期第4四半期において特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成25年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想値と本日公表の実績値および、通期個別実績値と前期個別実績値について差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について（個別）

当社の子会社に対する出資金の実質価額が著しく低下していることに鑑み、関係会社出資金評価損を計上しております。なお、本件による連結決算への影響はありません。

| 項目 | 金額 |
|--|------------|
| 平成25年3月期 第4四半期会計期間（平成25年1月1日～平成25年3月31日）の関係会社出資金評価損の総額 (= (a) - (b)) | 百万円 223 |
| (a)平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の関係会社出資金評価損の総額 | 446 |
| (b)直前四半期（平成25年3月期 第3四半期） 累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）の関係会社出資金評価損の総額 | 222 |

2. 通期連結業績予想値との差異について

(1) 平成25年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------------|------------|-----------|-------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 19,000 | 百万円 100 | 百万円 50 | 百万円 △750 | 円 銭 △61.98 |
| 実績値 (B) | 18,661 | 448 | 423 | △354 | △29.29 |
| 増減額 (B - A) | △338 | 348 | 373 | 395 | |
| 増減率 (%) | △1.8 | 348.1 | 746.6 | — | |
| (ご参考) 前期実績 (平成24年3月期) | 19,813 | △523 | △569 | △642 | △53.11 |

(2) 差異の理由

売上高においては、ほぼ前回公表どおりです。

利益面につきましては、全事業において原価の低減と諸経費の削減に努めました。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回発表予想を上回ることになりました。

3. 前期個別実績値との差異について

(1) 平成 25 年 3 月期通期個別実績値と前期個別実績値との差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|
| 前期実績値 (A) | 百万円 19,615 | 百万円 △431 | 百万円 △483 | 百万円 △536 | 円 銭 △44.34 |
| 当期実績値 (B) | 18,376 | 535 | 503 | △469 | △38.82 |
| 増減額 (B - A) | △1,238 | 966 | 987 | 66 | |
| 増減率 (%) | △6.3 | — | — | — | |

(2) 差異の理由

売上高においては、公共投資関連の道路情報機器、道路・トンネル照明器具が、高速道路向けを中心に減少しました。また、民需関連製品では、デジタル関連市場の落ち込みにより、電磁波環境部品が減少しました。それらを受けて、全体の売上高も減少しました。

一方、利益面におきましては、生産性の向上や業務の合理化による諸経費の削減と原価低減に取り組みました。その結果、営業利益、経常利益は前期に比べ増益となりました。

以 上